

CIS サービスを再起動せずに log4j からの DEBUG ロギングを有効にする方法

目次

[概要](#)

[CIS サービスを再起動せずに log4j から DEBUG ログを有効にする方法](#)

概要

このドキュメントでは、log4j.properties ファイルから DEBUG ロギングを有効にするときにサーバの再起動を回避する方法について説明します。

CIS サービスを再起動せずに log4j からの DEBUG ロギングを有効にする方法

通常、/conf/server/log4j.properties ファイルを編集すると、変更内容を有効にするにはサーバを再起動する必要があります。

次の手順により、再起動を回避できます。

1. Studio で、[Administration] > [Configuration] > [Server] > [Configuration] > [Debugging] > [Debug Output Enabled] の順に選択します。
2. 値を [True] に変更します。
3. [Apply] をクリックします。ウィンドウは閉じないでください。
4. 値をすぐに [False] に戻します。
5. Apply をクリックして、ウィンドウを閉じます。
6. トラブルシューティングを行っている問題を再現します。
7. log4j.properties ファイルに行った編集を取り消します。
8. 有効になっている余分な DEBUG をオフにするために、手順 1 ~ 4 を繰り返します。

これらの手順の目的は、新たに更新した log4j.properties ファイルをサーバにすぐにリロードさせる、設定ユーザインターフェイスでの「ダミーの」変更を行うことです。この方法で DEBUG ロギングを収集でき、サーバを再起動する必要はありません。

DEBUG トレース レベルですぐにログファイルに入力されるため、これらの手順はすべて即座に実行するよう推奨されています。